

宮城県林業普及活動情報

2023. 1月号 No. 176

もくじ

各地の林業普及活動情報

P 2 ~ 1 1

- 地域木材を利用した木育活動の支援 (大河原地方振興事務所)
- 規格外苗木を使った加工品検討 (大河原地方振興事務所)
- 原木しいたけ出荷制限解除済み生産者への販売開拓支援 (大河原地方振興事務所)
- 仙南森林組合役職員研修会 (大河原地方振興事務所)
- 「スマート林業入門研修」開催 (大河原地方振興事務所)
- 新しい設備で舞茸が順調に育っています (仙台地方振興事務所)
- 森林経営管理制度の推進～市町村モデル支援(伴走型)～ (北部地方振興事務所)
- 鳴子こけし材安定供給体制の整備 (北部地方振興事務所)
- 栗原市森林整備計画策定指導 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 「集積計画の公告」に向けた現地調査の支援 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 「ナラ林伐採跡地の更新」に向けた支援 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 補助事業進捗状況確認 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 栗原産材利用促進等に関する要望活動 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 林道事業箇所整備計画支援 (東部地方振興事務所)
- 地域材マガジンラックの設置 (東部地方振興事務所)
- 工業団地での植栽方法の検討支援 (東部地方振興事務所)
- 森林づくり活動の推進 (東部地方振興事務所)
- 超厚合板普及の支援 (東部地方振興事務所)
- 林業成長産業化・スマート林業取組状況説明会(東部地方振興事務所 登米地域事務所)
- 木育活動推進事業の計画変更に向けた支援 (気仙沼地方振興事務所)
- 伐木等の業務労働安全衛生特別教育(第3日目/3日)の実施 (林業技術総合センター)
- 令和4年度宮城県林業研究会連絡協議会第3回役員会及び監査会の開催 (林業技術総合センター)

地域木材を利用した木育活動の支援

大河原地方振興事務所

【12日(木)】

大河原管内の木材を利用した「木育」活動の普及促進を図るため、小学生を対象とした地域材による木製箸の製作体験や、赤ちゃんが初めて使うおもちゃ「ファーストトイ」の試作品検討について、こけし工人と打合せを行いました。

木製箸製作については、イベントの際に使用する工具やケガ防止対策、使用する樹種について調整し、ファーストトイについては、五感で楽しめるような木製品についてアイデアを出し合いました。

引き続き、箸製作のワークショップの実施や、ファーストトイの試作品製作及び商品化など、関係機関と連携しながら、木製品の需要拡大に向けた取組を進めてまいります。



【打合せ状況】

規格外苗木を使った加工品検討

大河原地方振興事務所

【12日(木), 13日(金), 18日(水)】

種苗生産者による規格外苗木を使った加工品の一般商品化に向け、以前実施したアンケート調査の結果を踏まえたパッケージデザインの調整を行い方向性を固めることができました。また、小さな鉢ものの販売に関して、外部講師による指導・助言を行い、今後の作業スケジュール及び販売方法について調整し、今年春から販売を始めることになりました。併せて、今年1年間、各方面の外部講師から指導を受けた当取組について広く情報を発信するため、報道機関に情報提供を行ったところ、苗木生産者の新たな取り組みとして、テレビで紹介されることになりました。

引き続き、規格外苗木の商品化に向け、関係機関と連携しながら、支援をしていきます。



【苗木の状況確認】

原木しいたけ出荷制限解除済み生産者への販売開拓支援

大河原地方振興事務所

【17日(火), 26日(木)】

既に出荷制限解除し生産を再開した原木しいたけ生産者から相談を受け、新たな販売に関して、外部講師による指導を行いました。

1回目の指導では、インターネットによる農産品販売に関する情報提供を行ったあと、意見交換をしながら、生産者の意向を確認し、2回目の指導では、実際にインターネット直販サイトへの掲載と、SNSアカウント設定について支援を行うとともに、今後の情報発信方法等について指導・助言を行いました。

引き続き、協力機関と連携しながら、販売開拓等について支援していきます。



【指導の状況】

仙南森林組合役職員研修会

大河原地方振興事務所

【19日(木)】

組合員所有の森林整備等に係る一層の取組を推進するため、役職員を対象とした研修会を開催しました。

講師には、組織再生と地域貢献を掲げ、施業の集約化や人材育成事業、地域産材の流通改革等多岐に渡って取り組む釜石地方森林組合の高橋参事を迎え、講話いただきました。

講師からは、先進的な取り組みだけでなく、組合が抱える課題やその解決に向けた取組、現状把握や分析等について、実体験を踏まえて詳しく話を聞くことができ、各々の立場で業務のヒントとなったように感じました。今後、森林組合の運営改善等の一助になることが期待されます。

引き続き、森林組合の適正かつ円滑な運営を推進する取組について支援していきます。



【研修会の状況】

「スマート林業入門研修」開催

大河原地方振興事務所

【27日(金)】

大河原地方振興事務所管内で森林づくりに取り組む団体等を対象に、スマート林業に関する入門講座を開催しました。

デジタルデータの活用及び共有についての講義のあと、各自所有のスマホにダウンロードしたアプリを利用したポイントやトラックデータの記録、GNS S機器を活用した境界確認について実習を行い、スマート林業に関する関心を深めていただくことができました。

団体では、高額な機械の購入が困難なことから、今回の研修は、各団体の今後の活動に役立てていただきたいと思います。

今後も、仙南地域の森林づくり活動が活発になるよう、情報提供や研修を実施していきます。



【実習の様子】

新しい設備で舞茸が順調に育っています

仙台地方振興事務所

【10日(火), 24日(火)】

令和4年度燃油価格高騰対策事業を活用し、省エネ機器を導入した舞茸生産者を訪問し、順調な舞茸の生育を確認することができました。新しい設備を導入したことにより、温度環境が改善し、生産性が向上しているとのことでした。

生産資材が高騰する中、厳しい状況ではありますが、生産者の方々は工夫をして生産を継続しています。

今後とも生産支援を継続していきます。



【順調に生育する舞茸の様子】

森林経営管理制度の推進 ～市町村モデル支援（伴走型）～

北部地方振興事務所

【18日(水)】

前回(12月14日)に引き続き2回目。今回は、集積計画の素案をもとにして、集積計画策定時の注意点や新規意向調査を効果的に行う方法等について、打合せを行いました。

打合せの結果、集積計画(素案)を作成する過程で見えてきた意向調査データ取扱いの課題や意向調査を行う段階で工夫すべきこと等について情報を共有することがで



【町との打合せの様子】

きました。

今後、集積計画を固め、来年度（R5）、町が森林整備事業発注できるよう作業を進めていきます。

鳴子こけし材安定供給体制の整備

北部地方振興事務所

【24日(火)】

伝統鳴子こけし工人から、こけしの材料となるミズキ材が不足しているとの相談を受けており、令和5年度秋の材供給について、木地玩具協同組合と大崎森林組合を参集し、供給方法や伐採場所等の詳細について打ち合わせを行いました。大崎市有林から木地玩具協同組合が立木の払い下げを受け、大崎森林組合が伐採、納材すること、加えて民有林に自生するミズキを買い取ることで供給可能な見込みとなりました。また、今後必要となるこけし材を確保するため、大崎市有林等へのミズキの植栽が必要であることから、こけし工人や地元の小学生、林業研究グループ、こけしファン等多様な参加者による植栽の実施について検討しました。今後、ミズキ苗の確保や植栽支援などを継続していきます。



【打合せの様子】

栗原市森林整備計画策定指導

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【16日(月)】

栗原市森林整備計画にあたっては、今年度「長伐期施業」から「通常施業」への変更があり、円滑な事務処理となるよう場所の聞き取りをするとともに、スケジュール表を参考にして説明しました。

また、再造林を促す制度である「特に効率的な施業が可能な森林区域」の設定についても概要を伝え、積極的な導入について周知を図りました。



【市町村森林整備計画聞き取り】

「集積計画の公告」に向けた現地調査の支援

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【18日(水)】

栗原市は、令和4年度に森林経営管理制度に基づく経営管理権集積計画の公告を行い保育間伐の実施に向けた契約事務を進めており、令和5年度の公告に向けて、意向調査の結果を踏まえた現地調査を行っています。

そのような中、栗原市から「集積計画への掲載にあたり施業種に迷う林分がある」との相談を受けたことから、担当者とともに現地調査を行いました。

1カ所目は「面積=0.1ha・ヒノキ・81年生」の林分でしたが、ため池に接し伐採作業に制約があることから、蔓切り・枯損木の除去に留めることとしました。

また2カ所目は「面積=0.23ha・スギ・96年生」の林分であり間伐等は不要であることから、今回は施業を見合わせ周囲のスギ林(60年生程度)の皆伐時に合わせ伐採・更新することとしました。

今後もこのような施業種の選択に迷う林分も想定されることから、逐次、現地調査を行うなど支援を続けていくこととしています。



【施業種の選択に迷う林分の現地調査】

「ナラ林伐採跡地の更新」に向けた支援

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【19日(木)】

栗原市若柳地区に約8haの森林を所有する有賀共有山組合(76名共有/構成員73名)は、ナラ林更新伐事業を活用する林業事業体に更新伐を委託していますが、伐採後の造林等について同組合副組合長から相談を受けたことから、森林整備センターとの分収契約を提案し、栗駒高原森林組合に同席をいただき打合せを行いました。

その結果、分収契約においては、①登記簿上の所有者を3名程度に集約する必要があること。②その所有者と共有山の構成員とは別途、条件等を付した契約を結ぶ必要があること。③伐採終了後に分収契約の申込⇒契約締結⇒造林となるが、申込時には保安林指定、登記完了が条件となることを森林整備センターと確認しました。

なお、分収契約が不成立となった場合は、天然更新による雑木山として共有山組合が管理していくこととなることから、臨時総



【分収契約締結から収穫までの一連の流れを丁寧に説明】

会等を開催し、構成員の意向を確認し進めるよう指導しました。

補助事業進捗状況確認

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【20日(金)】

森林育成事業等の造林間伐補助事業については、今後、検査が多数生じることから、検査時期を把握するため森林組合に赴き各担当から聞き取りしました。それを基に進捗管理表を更新し情報共有を図りました。

また、1月期は積雪があるため伐採作業地での事故や怪我等について注意喚起しました。



【事業進捗状況聞き取り】

栗原産材利用促進等に関する要望活動

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【23日(月)】

宮城北部流域森林・林業活性化センター栗原支部主催の栗原市長に対する木材利用に係る要望活動の支援を行いました。当事務所からは選挙ポスター用掲示板について情報提供しました。

市長からは、公民館等の公共施設へは栗原産材を利用したいとの回答がありました。

選挙ポスター用掲示板等については、他市町村の情報を収集しながら引き続き情報提供を行い、木材利用を働きかけていくこととしています。



【栗原市長への要望活動】

林道事業箇所の整備計画支援

東部地方振興事務所

【16日(月)】

林道事業の実施に伴い、森林整備計画の調整について、関係者と打合せを行いました。

森林組合とは森林整備箇所の見直しを確認し、林道沿線を中心に効率のよい計画を指導しました。また、その結果を基に町に計画策定の要点を説明し、今後の変更作業についても引き続き支援を行うことになりました。



【打合せの様子】

地域材マガジンラックの設置

東部地方振興事務所

【18日(水)】

木材の魅力を広く一般に普及PRするため、当所執務室(地方振興部入口)のカウンターに造付けのマガジンラック2基を製作し、設置しました。

木材加工は、地域内の木工業者にお申し、スギの木目が美しいマガジンラックを設置することで、今後來所する多くの方々に木材製品の良さや美しさをPRする格好のツールとなりました。



【設置作業の様子】

工業団地での植栽方法の検討支援

東部地方振興事務所

【18日(水)ほか】

東松島市内の工業団地の整備を行う市担当者からの相談により、団地に隣接するランドゴルフ場周辺での植栽について、技術検討を支援しました。

現地は、新たな造成平坦部で、地下水位も高いことから、盛土により改善すること、活着がよい小苗を用いることなどの要点を説明し、この植栽方法でうまく生長している市内のショッピングセンターの現地事例も参考にしてもらいました。



【先進事例の視察状況】

森林づくり活動の推進

東部地方振興事務所

【26日(木)】

今年度、管内で森林づくり活動(森林多面的機能発揮交付金事業)を行う5団体のうち、実施報告とりまとめ作業中の2団体を対象に、書類整備の状況を確認しました。

当助成事業の事務処理では証明書などの整理作業が多めで、とりまとめが大変なため、記載様式への具体的な記載例などを基に理解に役立ててもらいました。今後とも、報告書提出に向けた支援を行う予定です。



【団体との打合せの様子】

超厚合板普及の支援

東部地方振興事務所

【24日(火)】

宮城県CLT等普及促進協議会が行う「みやぎ材イノベーション創出事業」の活動として、事業者（合板工場）と今後の取組方針を打合しました。

テーマとなる超厚合板は、これまでベンチなど家具の試作実績がありますが、50ミリ以上のJAS規格がなく、公共物件に配置するにも設計できない課題があります。このため、まずは、公共施設に付帯する倉庫などでの使用を想定しているとのことでした。こうした事情や当協議会の計画等も考慮の上、設置箇所の検討等、当所でも引き続き支援していくこととなりました。



【団体との打合せの様子】

林業成長産業化・スマート林業取組状況説明会

東部地方振興事務所 登米地域事務所

【10日(火)】

平成30年度に選定された林業成長産業化地域構想の最終年度に当たり、これまでの主な取組内容について、構想の実施主体である登米市森林管理協議会の会員の中で情報共有することや、既に本県で実用化されているスマート林業に係る技術の普及を目的として説明会を開催しました。

管内の各森林組合が組合長も含めて一堂に会する機会となり、地域構想実現のために取組んできたモデル事業の内容や実績に加え、ドローンを活用した写真撮影、測量、専用ソフトを活用したオルソ画像作成など、最新のスマート林業に係る技術について理解を得ることができました。また、再造林推進の妨げとなるニホンジカ被害の現状や、防除対策としての単木防除の効果実証の取組についても理解を得ました。



【タブレットによる伝票入力システムの説明】

木育活動推進事業の計画変更に向けた支援

気仙沼地方振興事務所

【11日(水)】

今年度実施中の「みんなで広げる「木育」活動推進事業」について、事業実施者から、建築基準法に適合する避難路確保に伴う計画変更が生じたとの相談を受けたことから、変更承認申請資料作成に向けた支援を行いました。

事業実施者からは、木質化工事完了後の木育活動等イベント実施に及ぶ相談もあったことから、適切な事業実施に向けたスケジュールの再調整などの助言を行いました。

工事完了後には、木育イベントが年度末まで多数開催されることとなっているので、木材利用及び木育の推進に向け引き続き取り組んでまいります。



【早期の変更承認に向けた支援の様子】

伐木等の業務労働安全衛生特別教育(第3日目/3日)の実施

林業技術総合センター

【6日(金)】

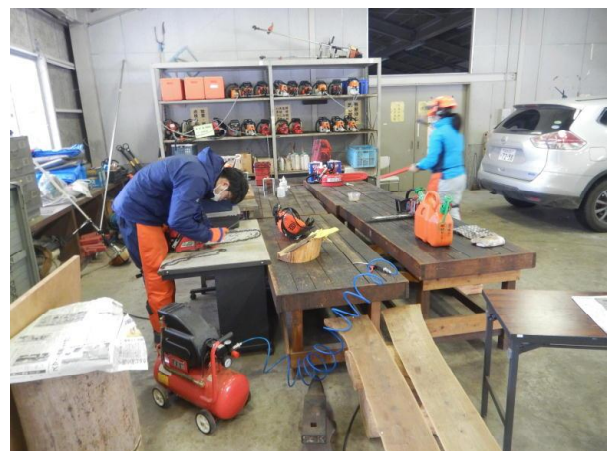
当所林業機械実習舎ほかにおいて県林務職員が、現場においてチェーンソー作業を実施する際に、労働基準法で事業者に求められる義務と同等の責務を確保するため、2名の受講者を得て労働基準法に規定する標記教育の6時間分を実施しました。

カリキュラムは必要教程のうち、「伐木等の方法」(5時間)、「チェーンソーの点検及び整備」(1時間)を実施しました。具体的には、受口と追口の作り方、ロープ(縄で動滑車同等の効力を発生させる方法)、造材の方法、チェーンソーの点検及び整備方法等についてです。

最後に、労働基準法に規定する標記教育修了者に修了証を交付しました。



【伐木方法の実技】



【整備の実技】

令和4年度宮城県林業研究会連絡協議会第3回役員会及び監査会の開催

林業技術総合センター

【13日(金)】

当所会議室において7名の役員出席により、標記会議を開催しました。

議事では、①令和4年度事業監査の承認②第67回通常総会提出議案③総会役割分担及び進行④令和5年東北・北海道ブロックグループコンクール⑤令和6年東北・北海道ブロックグループコンクール(主催権)⑥第51回全国林業後継者大会いわて2023の参加者他について、審議・報告がなされました。



【役員会の模様】